内閣総理大臣杯争奪
第４２回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2014年5月17日　12時50分開始

１回戦　東京体育館　Ｃ － 2

◎ **太陽の家スパーズ** 83（九　州）

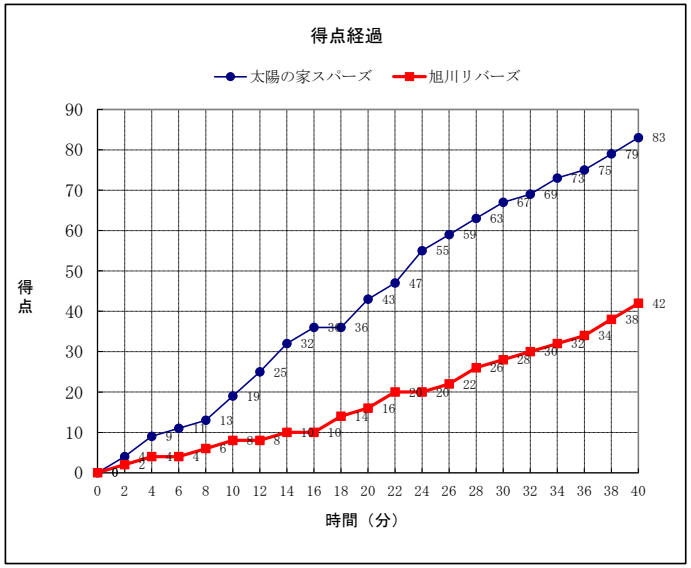
19	1ｸｫｰﾀｰ	8
24	2ｸｫｰﾀｰ	8
24	3ｸｫｰﾀｰ	12
16	4ｸｫｰﾀｰ	14

42 **旭川リバーズ**（北 海 道）

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
＊ 5	福地　広和（2.5）	8	0	4	0	－	－	2
＊ 6	矢田　成昭（2）	8	0	4	0	－	－	0
＊ 8	宮本　晶（4）	10	1	3	1	－	－	3
9	宮平　盛男（1）	－	－	－	－	－	－	－
10	楢崎　秀政（2.5）	－	－	－	－	－	－	－
11	徳永　祐政（3）	8	0	4	0	－	－	0
＊ 12	田中　栄太郎（1）	0	0	0	0	－	－	0
＊ 13	本田　昌士（4）	49	0	23	3	－	－	1
14	高橋　幸久（1）	0	0	0	0	－	－	0
ＨＣ	河野　有信							
ＡＣ	矢田　成昭							
#REF!	河野　和美							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ								
合　計		83	1	38	4	0	0	6

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
＊ 4	柏川　貴彦（2）	12	0	6	0	－	－	2
＊ 5	川村　徹（1.5）	6	0	3	0	－	－	3
＊ 6	鹿野　啓司（4）	16	0	8	0	－	－	3
＊ 8	菊地　宏仁（4）	8	0	4	0	－	－	1
9	及川　満（3.5）	－	－	－	－	－	－	－
10	藤嶋　茂紀（2）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 12	福嶋　孝宏（2）	0	0	0	0	－	－	3
ＨＣ	会田　真助							
ＡＣ								
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	中村　瞳							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	赤間　光浩							
合　計		42	0	21	0	0	0	12

主審：　齋藤　登
副審：　平田　貴浩
副審：　湊　正雄



〔 戦　評 〕

１Ｑ
旭川リバースボールで試合スタート。太陽の家スパーズの＃13本田選手、＃5福地選手のインサイドシュート、＃8宮本選手のカットインで得点し、試合の流れを掴む。お互いインサイドを攻めるが、パス・シュートミスが多く、始めは得点が伸びない。その後スパーズはミスを修正し、さらに＃13のインサイドシュートで得点を重ね点差を広げる。リバーズはミスを修正しきれず、得点を決め切られず１Ｑを終了。

２Ｑ
開始早々、スパーズ＃5がインサイドシュートを決める。２Ｑもスパーズは＃13を中心にインサイドで得点を重ねる。リバーズは＃６鹿野選手がインサイドシュートを打つも、ゴール決まらず。また、バックピックからのアウトナンバーで攻撃をしかけるも、得点には結びつかない。7分半でリバーズがタイムアウトを取る。スパーズの＃13のＯＦに対し、リバーズ＃６・８でマッチアップにつき、対応しようとする。途中、スパーズ＃13のインサイドシュートがなくなり、得点が伸び悩む場面があるも、リバーズも得点の決定力が足りず、前半43-16と、スパーズ大量リードで折り返しを迎える。

３Ｑ
スパーズはプレスＤＦを行う。リバーズはプレスをうまく抜けレイアップシュートを打つも、シュートを決められず得点が伸びない。一方、スパーズは＃13によるインサイドシュートと、ＤＦが小さくなったところからの＃６・８のアウトサイドシュートにより得点を重ねる。残り4分を過ぎたところで、リバーズタイムアウト。その後、リバーズもインサイド、アウトサイドにより点数を重ねるが、点差は縮まらず３Ｑが終了。

４Ｑ
リバーズ、インサイド・アウトサイドシュートにより得点を重ねる。残り3分、リバーズはプレスをしかけ、徐々にＯＦスピードが上がり、シュート場面が増える。しかし、スパーズの勢いを止めることができず、83-42でスパーズが勝利。

（担当：江口／小柳／松田）